# 八草キャンパス　今昔散歩

八草にキャンパスが移転したのは1966年。50年以上の歳月を経て、
建物の新築や建て替えも進み、懐かしさの中にも新しい雰囲気が漂うキャンパスになっています。

1号館 竣工1966（昭和41）年

新1号館 竣工2010（平成22）年

5号館 竣工1972（昭和47）年

セントラルテラス 竣工2016（平成28）年

**西 裕之（H11K）**

講義室がメインだった旧建物は、多目的に使用できる複合施設になりました。1階にはカフェ、2階にはガラス張りで学生も出入りしやすい雰囲気のキャリアセンター、3階にはメディア視聴覚室、4・5階には講義室、6・7階にはメディアラボや情報科学部のスタジオ等があります。また、自習や休憩に使用できるラウンジもあり、多くの学生が集っています。

**岩田 博之（62R）**

立ちはだかる巨大な壁のようだった旧5号館。跡地の大半は広場となり、その東端に2階建てのセントラルテラス（食堂）ができました。卒業生が懐かしむカツサラダ定食、お茶のやかんは消えましたが、白基調のモダンな内外装の食堂には自販機もあり、学生たちの生活を支えてくれています。

旧守衛室 竣工1975（昭和50）年

新守衛室 竣工2020（令和2）年

**太田 英伸（H9M）**

八草キャンパスの玄関口となる警備室。来訪者の受付やキャンパスの安全確認の役を担う警備の方々が詰める建物が装いも新たに完成しました。面積が1.5倍になり、位置が移動して歩行路も整備されて通行しやすくなっています。

空地 バイオ環境化学実験棟 竣工2017（平成29）年

カフェ&レスト　セントラル 竣工1972（昭和47）年

新2号館 竣工2014（平成26）年

**野澤 英希（H2A）**

かつてキャンパスの中心に位置したセントラルは、吹き抜けで解放感があり居心地が良く、私の在学時は安くてありがたい存在の学食でした。跡地に建った新2号館の1階にはロボットミュージアムがあり、3・4階に入る建築学科の部屋からは食堂から見たのと同じ鉄徳館の景色を見ることができます。

**佐藤 暢也（61C）**

4階建て・延べ床面積1576m²のバイオ環境化学実験棟は、DNA組換え室や細胞培養室などを完備しています。リボ核酸（RNA）を活用した治療薬の研究をはじめ、微生物学や細胞分子生物学を駆使した最新の研究を行うことができる最先端の施設で、より高度な専門知識と実験・分析技術を修得することができます。